



(第5章 文化財の保存と活用の方針)

## 文化財の保存と活用に関わる課題 案

### 文化財所有者から見た課題

- 文化財の活用に制限がかかる
- 文化財の担い手が不足している
- 文化財の維持・継承にかかる資金が不足している
- 文化財の維持修理のために出される補助が少ない
- 文化財の日常の維持管理が高齢化等により難しくなっている
- 災害や盗難による文化財滅失のリスクに対応できていない
- 文化財の魅力を伝える情報発信が不足している

### 市民から見た課題

- 文化財の活用に制限がかかる (再掲)
- 地域住民が主体となった文化財の把握に対する支援が少ない
- 文化財をまちづくりに十分活用できていない
- 文化財の魅力を伝える情報発信が不足している(再掲)
- 文化財に触れて学べる機会が少ない
- 文化財を活用した魅力的なイベント等が少ない
- 文化財への関心が薄い

### 来訪者から見た課題

- 興味や関心を引くテーマで文化財の紹介がされていない
- 文化財の価値や面白さが十分に伝わる展示、活用がなされていない

- 関連性を持った文化財の紹介や、それらを周遊するコースの設定が少ない
- 文化財を周遊する際のガイドや解説が不足している
- 外国人や障害者など多様な人たちへの配慮が少ない

### 観光業者から見た課題

- 文化財の活用に制限がかかる (再掲)
- 非公開の場所を期間限定で公開してほしい
- 非公開の場所を公開する際には積極的に情報を発信してほしい

### 市(行政)の課題

- 地域や分野によって文化財の把握に濃淡がみられる
- 過去の調査結果の把握と共有化が不十分
- 地域住民と連携した文化財の把握調査が不足している
- 文化財を十分に価値づけられていない
- 防災・防犯設備や対応体制、情報共有が不十分
- 災害や盗難による文化財滅失のリスクに対応できていない(再掲)
- 文化財を継承する人材の育成が十分にできていない
- 文化財の保存収蔵施設の機能、容量が不足している
- 文化財を活用している地域活動団体との連携が図れていない
- 文化財の把握調査の成果を市民と共有できていない
- 収蔵資料の活用方法が主に展示に限られている
- 学校教育の中で十分に文化財が活用されていない
- 関連性を持った文化財の紹介や、それらを周遊するコースの設定が少ない(再掲)
- 文化財を周遊する際のガイドや解説が不足している(再掲)
- 文化財をまちづくりに十分活用できていない(再掲)
- 展示施設が老朽化している
- 文化財を継承する技術やノウハウを持った活動団体等との連携が図れていない
- 文化財の魅力を伝える情報発信が不足している(再掲)